



京都の伝統技術に根ざし 「金銀糸」から「透明導電性フィルム」へ 尾池工業株式会社

知恵の使いどころ

京都の代表的な伝統美の一つ「西陣織」。その輝きを演出している「金銀糸」。当社は金銀糸用蒸着フィルムの機械化、量産化に成功させた「真空蒸着技術」、「着色技術」をさらに磨き、他に先駆けるということをモットーに技術開発や市場開発に挑戦し、さまざまなフィールドに製品を展開している。



強み

金属や化合物を成膜するドライコーティング技術（真空蒸着、スパッタリング）、有機物や無機物などの塗料を塗布するウェットコーティング技術を利用して、プラスチックフィルム表面に薄膜を形成、さまざまなフィールドに高い品質の製品を提供、また産学官連携にも積極的に取り組み、成膜技術の開発、新製品、新事業の開発を積極的に進めている。

プロフィール

京都の伝統産業である金銀糸の製造販売を原点とし、1876年に創業。金銀糸事業のパイオニアとして事業を伸ばしてきた。1956年に国産初の巻取り式真空蒸着機を開発導入し、金銀糸用蒸着フィルムの量産化を実現。これを契機に転写箔、包装材料、工業材料などの高付加価値製品をさまざまな分野に提供、事業躍進につなげている。

実績・成果

携帯電話、モバイルパソコンへのタッチパネルの搭載も拡大、抵抗膜方式や静電容量方式のタッチパネル用透明導電性フィルムの売上も増加、FPD用光学フィルムやフレキシブル回路基板用導電性フィルムも堅調である。現在は、環境・エネルギー関連分野、自動車関連分野を新たな事業領域として捉え、製品開発に取り組んでいる。

